

幻の!?!「超絶シリーズ」最新作!!

プロジェクション × マッピング × パイプオルガン

超絶の ボヘミアン ラブソディ

今年もパイプオルガンがスゴすぎる!!

QUEEN

[QUEEN]

I WAS BORN TO LOVE YOU ★

ボーン・トゥ・ラヴ・ユー

WE WILL ROCK YOU

ウィ・ウィル・ロック・ユー

DONT STOP ME NOW

ドント・ストップ・ミー・ナウ

BOHEMIAN RHAPSODY ★

ボヘミアン・ラブソディ

[ABBA]

MAMMA MIA ★

マンマ・ミーア

DANCING QUEEN ★

ダンシング・クイーン

VOULEZ VOUS ★

ヴーレ・ヴー

LAY ALL YOUR LOVE ON ME

レイ・オール・ユア・ラヴ・オン・ミー

順不同

★ プロジェクション
マッピング付

ABBA

[オルガン]

大木麻理

2021 4.24 (土) ① 14:00開演 (13:00開場) ザ・シンフォニーホール
② 19:00開演 (18:00開場) 全席指定 3,000円(税込) 主催:ザ・シンフォニーホール

ご予約
お問い合わせ

■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (10:00~18:00 火曜定休) <http://www.symphonyhall.jp>

プレイガイド

■ e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)

■ ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード: 53565] ■ チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 187-749]

発売日

一般発売 2020年11月22日(日) 10:00~
[Sinfonia会員先行] 11月19日(木) 10:00~

*4歳以上のお子様からご入場可能です。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。*休憩なし、約60分間のコンサートです。

「スター・ウォーズ」といった有名な映画音楽が、パイプオルガンの荘厳な響きとプロジェクション・マッピングの華麗な映像世界と共に堪能できるザ・シンフォニーホールのコンサート「超絶のスター・ウォーズ」。4年連続チケット完売という毎年恒例の人気企画だが、今回、お送りするのは、日本でも社会現象化した洋画「ボヘミアン・ラブソディ」でおなじみの英バンド、QUEENと、スウェーデンのポップグループ、ABBAのヒット曲で綴る「超絶のボヘミアン・ラブソディ QUEEN×ABBA」。3732本のパイプが紡ぐオルガンの多彩な音色が、クラシック音楽との親和性の高さで知られる両者のヒット曲に隠された真の魅力をわれわれに伝えてくれる。

文 岡田敏一

QUEEN ボーン・トゥ・ラヴ・ユー

★プロジェクション・マッピング付

不世出のボーカリスト、フレディ・マーキュリー唯一のソロアルバム「Mr.バッド・ガイ」（1985年）に収録された楽曲。全英11位と本国でもヒットしたが、日本では当時、化粧品メーカーのCMソングに使われたほか、2004年にはクイーンのバージョンが木村拓哉主演のTVドラマ「プライド」のテーマ曲にも選ばれ、日本では「ボヘミアン・ラブソディ」や「キラー・クイーン」（1974年）に匹敵する知名度と人気を誇る名曲で知られる。本公演でも大いに盛り上がること間違いなしだ。

QUEEN ウィ・ウィル・ロック・ユー

1977年発売の6作目のアルバム「世界に捧ぐ」の冒頭を飾る名曲。1977年、英国でのライブのアンコール前、観客たちがサッカーの試合で歌われる応援歌を歌い出したのを聞いたメンバーが「観客と一緒に参加できる楽曲を」と制作。歌いやすいメロディーと、足踏みと手拍子を組み合わせさせたシンプルかつ重厚なビートが受け、ライブでは必ずサビで大合唱が起きる定番曲に。今ではスポーツ観戦に欠かせない楽曲としても知られる。本公演でも壮麗な演奏に合わせて大合唱が起きるか…。

QUEEN ドント・ストップ・ミー・ナウ

昨年公開の映画「ボヘミアン・ラブソディ」のエンディングに流れ、QUEENのファンの間でも改めてその名曲ぶりが再認識された1979年のヒット曲。パンクロックの一大ブームが去り、再びQUEENの華麗で劇的なハードロックに注目が集まる中、この楽曲ではフレディ・マーキュリーの力強いピアノと歌声が疾走。そこに十八番といえる壮麗かつクラシカルなハーモニーが重なる美しき“QUEENサウンド”でバンドの底力を発揮した。パイプオルガンがどのように“疾走”するか楽しみだ。

QUEEN ボヘミアン・ラブソディ

★プロジェクション・マッピング付

言わずと知れたQUEENの代表曲でロック史に残る名曲中の名曲。劇的な展開の5つのパートで成る約6分間の華麗なるロック・オペラはジャンルを超越し、1975年の発売以降、世界中の音楽ファンを魅了し続けている。この楽曲を収録した1975年の4作目のアルバム「オペラ座の夜」も全世界で爆発ヒットした。パイプオルガンの荘厳な音色が奏でる本作の切ないメロディーに、1991年に45歳で悲劇の死を遂げたボーカリスト、フレディ・マーキュリーの勇姿がよぎるだろう。

ABBA マンマ・ミーア

★プロジェクション・マッピング付

米ブロードウェイミュージカルや映画の題材にもなったABBAを代表する1曲で、1975年発売の3作目のスタジオアルバム「ABBA」からのシングル曲。マリンバが奏でる印象的なイントロで始まる超ポップ曲だが、実は当初、シングルカットの予定はなかった。ところがこの楽曲のプロモビデオがオーストラリアで話題になり、シングル化したところ10週連続でヒットチャートの1位を記録するなど、後に多くの国々で人気を博した。一聴するだけでミュージカルや映画の名場面が甦る。

ABBA ダンシング・クイーン

★プロジェクション・マッピング付

ABBAの代表曲というより、いまや世界中のダンスフロアに欠かせない“究極のディスコ曲”と言っていい1976年の名曲中の名曲。4作目のスタジオアルバム「アライバル」（1976年）からシングルカットされ、全世界で爆発ヒット。累計300万枚以上の売り上げを記録した。イントロを聴くだけで誰もが踊り出してしまう魔法の様な楽曲で、2016年、英紙ガーディアンは「キャッチーで陶酔的で、若者の屈託ない幸福をカプセル化した完璧な楽曲」と絶賛した。本公演会場もダンスフロアと化すか？

ABBA ヴーレ・ヴー

★プロジェクション・マッピング付

1979年発表の6作目のスタジオアルバム「ヴーレー・ヴー」のタイトル曲。英で人気に火が付き、78年前半、キャリアのピークを迎えたABBAがディスコ路線を強化して発売。米ではこの路線は受けなかったが、やはり英では大ヒット。このアルバムからは他にも「チキチータ」や「夢があるから」など全10曲中、7曲がシングルカットされた。オリエンタル風のイントロから始まるど真ん中のディスコ曲を、クラシカルなパイプオルガンの演奏がどうアレンジするか楽しみだ。

ABBA レイ・オール・ユア・ラヴ・オン・ミー

前作「ヴーレ・ヴー」で強化したディスコ路線を引き継ぐ7作目のスタジオアルバム「スーパー・トゥルーバー」（1980年）から、翌1981年にシングルカットしたヒット曲。電子楽器の比重が前作より高まったが、肝心のメロディーはイントロでも聞かれるサビのリフをはじめ、ほとんどバロック期の教会音楽…。シンセサイザーの電子音が響くイントロからディスコ・サウンドになだれ込むこの楽曲が、荘厳なパイプオルガンによって会場を神々しく演出する。



大木麻理 [オルガン] Mari Ohki, Organ

東京藝術大学、同大学院修了。DAAD(長期)、ポセール財団の奨学金を得てリューベック国立音楽大学、デトモルト音楽大学に留学し最優等の成績で国家演奏家資格を得る。ブクステフーデ国際オルガンコンクール日本人初優勝、「プラハの春」ほか国内外で受賞。デビューCD「Erinnerung」がレコード芸術特選盤に選ばれた。NHK「リサイタル・ノヴァ」をはじめ、TV・ラジオに出演しオルガンの普及に努めている。現在、東洋英和女学院大学、神戸女学院大学非常勤講師、聖グレゴリオの家講師、彩の国さいたま芸術劇場「みんなのオルガン」講師。(一社)日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員、ミュゼ川崎シンフォニーホール・オルガニスト。

公式HP <http://mariohki.jp/>